



QUADRES

施工マニュアル



ベースコート

- ① ベースコート(90ml)
- ② ベースコート用塗布スポンジ
- ③ ベースコート拭き上げ用マイクロファイバークロス(グレー) x 2枚

トップコート

- ④ トップコート(90ml)
- ⑤ ベースコート用塗布スポンジ
- ⑥ トップコート拭き上げ用マイクロファイバークロス(ブルー) x 2枚

施工上の注意

施工するにあたり、以下のような作業環境をおすすめいたします。

- 1 施工に支障がないスペース
- 2 直射日光、雨、風、ホコリなどを防げる屋内
- 3 エアーホース、水道、電源の確保できる場所
- 4 蛍光灯などの照明施設

※上記の条件以外で施工した場合は品質、仕上がりに悪影響を及ぼす可能性があります。

- ※コーティング作業に入る前に必ずボディチェックを行い、キズ・ヘコミなどがないか確認を行ってください。
- ※新車の場合、ガードフィルムのノリなどが残らないよう脱脂剤でしっかりと取り除いてください。
- ※中古車の場合は、下地処理を行ってからコーティング作業を行ってください。
- ※炎天下及びボディ塗装面が高温の時にはコーティング作業を行わないでください。
- ※換気のよい場所で作業を行ってください。
- ※ラッカー塗装への施工はできません。
- ※再補修箇所への施工は2~4週間後に行ってください。



ボディコーティングは2液タイプとなっており、はじめにベースコートを塗布し放置乾燥を行った後、トップコートの塗布を行います。



ボディが汚れている場合は、予め洗車を行い汚れを落としてください。洗車後はエアブローなどを使用して水分をしっかりと除去してください。

ベースコート



トップコート



ベースコート1

使用アイテム

- ベースコート
- 塗布用スポンジ



コーティング施工時の水分は厳禁です

コーティング(特にベースコート)施工時に水分が混入すると施工不良などの原因となり、本来の性能が発揮されません。必ずエアブローなどでしっかり水分を除去してから作業を行ってください。

① 脱脂

脱脂剤をたっぷり染み込ませたクロスでボディ全体を優しく拭き上げ、その後乾いたクロスで再度ボディ全体を優しく拭き上げてください。油分・ノリの残りなどを除去します。

POINT

濃色系の車両などは擦りキズが目立ちやすいので、水で濡らして固く絞ったクロスで脱脂作業を行ってください。

注意

脱脂剤の量が少ないとしっかりと脱脂が不十分なため、必ずたっぷり染み込ませたクロスで行ってください。



② ベースコート取り出し

取り出す前にベースコートをよく振り、攪拌してください。付属のベースコート塗布用スポンジの白い面でビンに蓋をするように抑え、ビンとスポンジを逆さまにします。



ビンをスポンジに軽く押し当てるようにしながら「W」の字を2回描くように液剤を取り出します。



注意

液剤は開封後2時間以内に使用してください。
保存して再使用はしないでください。

ベースコート2

使用アイテム

- ベースコート
- 塗布用スポンジ



③ ベースコート塗布

取り出したベースコートをパネル半分に対して縦横ムラなく塗布してください。

POINT

未塗装部分に液剤が付着した場合は、水で濡らし固く絞ったクロスで拭き取ってください。乾燥して拭き取りにくくなった場合は、専用脱脂剤を含ませたクロスで拭き取ってください。

① 注意

- 適正な塗布量はスポンジがスムーズに動き、且つ液剤が垂れない程度です。
- 塗布時の方向性はありませんが、塗り忘れには十分注意してください。
- スポンジを強く押しつけたり、円を描く様には塗布しないでください。
- スポンジを汚したり、地面に落とした場合は新品と交換してください。
- ポリッシャーでは塗布しないでください。コーティング剤が飛び散る恐れがあります。

2回目以降の取り出しは、P.2の「ベースコート取り出し」の方法で「W」の字を1回描くように取り出し、車両全体へ塗布していきます。



④ ベースコート乾燥

塗布後、ベースコートを乾燥させます。
乾燥時間の目安は下記の表を参考にしてください。

🕒 塗布後乾燥時間目安

施工環境温度	乾燥時間(分)				
	5	10	15	20	25
0~15℃	→				
16~35℃	→				
36~45℃	→				

※直射日光が当たる場所や塗装面が高温の時にはコーティング作業を行わないでください。

① 注意

- 天候、温度、湿度など環境によって乾燥時間は多少前後します。
- 塗布後、30分以上乾燥させると拭き取りづらくなる恐れがあります。
- 夏場など気温が高い場合は乾燥時間が早くなる場合があります。一度に全体の塗布を行わず、パネル毎に【塗布~拭き取り】を行いながら施工することをお勧めします。



ベースコート3

使用アイテム

■マイクロファイバークロス
(グレー)



⑤ ベースコート拭き取り

乾燥後、付属のベースコート拭き上げ用マイクロファイバークロス(グレー)を2枚用意し、1枚で粗拭きを行った後、もう1枚で仕上げ拭きを行います。

① 注意

- キズ防止の為、強い力でゴシゴシと拭き上げないでください。
- こまめに折り返し、常にキレイな面を使うようにしてください。
- 余剰成分が残る場合や、拭き取りが重くなった場合は水で濡らし固く絞ったマイクロファイバークロスで拭き上げ、最後に乾いたマイクロファイバークロスで仕上げ拭きを行ってください。



⑥ 完了確認～放置乾燥

ベースコート拭き取り後、拭き残し・ムラなどがないか入念に確認を行います。その後、トップコートを施工するまでに5分～15分放置乾燥してください。

🕒 塗布後乾燥時間目安

施工環境温度	乾燥時間(分)				
	5	10	15	20	25
0～15℃	→				
16～35℃	→				
36～45℃	→				



① 注意

エンブレム、プレスライン、モール類周辺等の細部は拭き残しが発生しやすいため、しっかりと確認を行ってください。

トップコート1

使用アイテム

- トップコート
- 塗布用スポンジ



ベースコートは規定時間通り乾燥させてください

ベースコートの乾燥が不十分のままトップコートの施工を行うと、被膜が十分に形成されず施工不良の原因となり本来の性能が発揮されません。必ず放置乾燥の規定時間(P.4「放置乾燥時間目安」参照)を厳守してください。

⑦ ベースコート乾燥確認

トップコート施工前に、ベースコート施工後規定時間(P.4「放置乾燥時間目安」参照)以上経過しているか、必ず確認した上で作業を行ってください。



⑧ トップコート取り出し

取り出す前にトップコートをよく振り、攪拌してください。付属のトップコート塗布用スポンジの白い面でビンに蓋をするように抑え、ビンとスポンジを逆さまにします。



ビンをスポンジに軽く押し当てるようにしながら「W」の字を2回描くように液剤を取り出します。



① 注意

液剤は開封後2時間以内に使用してください。保存して再使用はしないでください。

トップコート2

使用アイテム

- トップコート
- 塗布用スポンジ



⑨ トップコート塗布

取り出したトップコートをパネル部分に対して縦横ムラなく塗布してください。

POINT

未塗装部分に液剤が付着した場合は、水で濡らし固く絞ったクロスで拭き取ってください。乾燥して拭き取りにくくなった場合は、専用脱脂剤を含ませたクロスで拭き取ってください。

注意

- 適正な塗布量はスポンジがスムーズに動き、且つ液剤が垂れない程度です。
- 塗布時の方向性はありませんが、塗り忘れには十分注意してください。
- スポンジを強く押しつけたり、円を描く様には塗布しないでください。
- スポンジを汚したり、地面に落とした場合は新品と交換してください。
- ポリッシャーでは塗布しないでください。コーティング剤が飛び散る恐れがあります。

2回目以降の取り出しは、P.5の「トップコート取り出し」の方法で「W」の字を1回描くように取り出し、車両全体へ塗布していきます。



⑩ トップコート乾燥

塗布後、トップコートを乾燥させます。
乾燥時間の目安は下記の表を参考にしてください。

塗布後乾燥時間目安

施工環境温度	乾燥時間(分)				
	5	10	15	20	25
0~15℃	→				
16~35℃	→				
36~45℃	→				

※直射日光が当たる場所や塗装面が高温の時にはコーティング作業を行わないでください。

注意

- 天候、温度、湿度など環境によって乾燥時間は多少前後します。
- 塗布後、30分以上乾燥させると拭き取りづらくなる恐れがあります。
- 夏場など気温が高い場合は乾燥時間が早くなる場合があります。一度に全体の塗布を行わず、パネル毎に【塗布~拭き取り】を行いながら施工することをお勧めします。



トップコート3

使用アイテム

■マイクロファイバークロス
(ブルー)



⑪ トップコート拭き取り

乾燥後、付属のトップコート拭き上げ用マイクロファイバークロス(ブルー)を2枚用意します。

1枚を水で濡らして固く絞ります。固く絞ったクロスで粗拭きを行った後、もう1枚の乾いたクロスで仕上げ拭きを行います。



① 注意

- キズ防止の為、強い力でゴシゴシと拭き上げないでください。
- こまめに折り返し、常にキレイな面を使うようにしてください。
- 余剰成分が残る場合や、拭き取りが重たくなった場合はマイクロファイバークロスを水で濡らし固く絞って拭き上げを行ってください。



⑫ ボディコート施工完了

最後に、車両全体に拭き残し・ムラなどがいないか確認を行って完成です。作業終了後、30分は水で濡らさないでください。

① 注意

エンブレム、プレスライン、モール類周辺等の細部は拭き残しが発生しやすいためしっかりと確認を行ってください。



作業終了後、30分は水で濡らさないでください。

初期の雨染み等の発生を防ぐために、作業終了後30分は水で濡らさないでください。